

## アルゼンチンとイタリアの紹介

(滝澤建治 厚木剣道連盟会長・記)

アルゼンチンとイタリアは、スペインを通して共通したことが有りますので、一緒にご紹介します。

スペインの剣道と、30年以上前からのつながりがあることはご紹介しましたが、10年ほど続いたバルセロナでの講習会には（厚木からは私の他に、森山・藤原の両7段が参加）スペイン各地から200人、その他の国から20人ほどが参加しています。イギリスからは、今回厚木に見えるバッテン7段・松田6段も参加。他にイタリア・フランス・ドイツ・アイルランド・ベルギー、そしてオーストラリアからの参加もありました。

### 《アルゼンチン》

その講習会に毎回熱心に参加される、Ernest（アルネスト）木村さんというスペイン語が上手な小柄な日本人がお出ででした。だんだんと分かったことですが、国籍はアルゼンチン、単身赴任してバルセロナでお仕事をされている日系二世。剣道五段でした。

親しくなり、話すうち「憧れの日本で稽古をしてみたい」と、厚木にお出でになり二回稽古をされています。稽古後の食事会で、「両親の故郷の日本に、もう来ることは出来ないと思っていたが、願いが叶って感無量です。」と涙を流され感激されていたのが忘れられません。

その後、お仕事は定年退職され、今はアルゼンチンの首都ブエノスアイレス（スペインからは、飛行機で大西洋を10時間かけて横断。言葉はスペイン語）に帰って、剣道を楽しまれています。剣道人口は500人まで届かないそうですが、日系人が蒔いた種が育って、皆さん楽しく稽古をされているそうです。今回は、仲間を誘って4人で厚木にお出でになります。



ブエノスアイレス (Wikipedia より引用)

余談ですが、バルセロナの講習会には日本領事館の佐藤領事が数回参加、神奈川県立生田高校出身で剣道部時代に2段だそうで、スペインの審査で3段に昇段。「昇段の報告」に、2段の取得実績を調べてくれた神奈川県連と、厚木をわざわざ訪問されています。現在はブエノスアイレス・日本大使館の一等書記官・日本文化センター所長として、日本文化の紹介のお仕事をされています。

## 《イタリア》

バルセロナの講習会にイタリアからロレンソ・ザゴ 7 段が、私のアシスタント講師として数回来てくれました。ザゴ先生は大阪体育大学に留学した経験があり、5月の京都演武大会には毎年参加されて顔なじみです。剣道は立派ですが、剣道形も修練されていますので、バルセリナやマドリッドの講習会ではザゴ先生と、やはり立派な剣道形をされるスペイン・サラゴサのアントニオ・グチェレス 7 段に、形の模範を示していただいています。今回の11月2日の「選手権大会」の開会式では、お二人に日本剣道形を披露していただく予定です。

スペインの講習会にイタリア、ミラノから「禅剣友」という道場の人達が参加してきました。聞くと、「気の合う仲間と禅の心にふれながら、好きな剣道を続けています。」とのこと。頼まれるまま、一度訪問しましたが、勝ち負けには一切こだわらないで、“ゆったりした心で”稽古をされているのが印象的でした。その禅剣友道場の責任者、エンリコ・モナコ 5 段は今回日本初訪問だそうです。

イタリアは剣道人口が増えて、2000 人になっているそうです。2年前にはミラノ近郊のスサノ市で第15回世界剣道選手権大会が開催され、イタリア剣道はますます盛んになっています。（今年の欧州選手権では開催国フランスを破り優勝したとのことです；藤原編集）



ミラノ (Wikipedia より引用)